

大阪帝國大學助教授 工學士 松川 達夫君
(齋藤大吉博士代講)

午前 11 時 45 分講演を終り香村賞牌贈呈式に移る。

香村賞牌贈呈式 午前 11 時 45 分

先づ香村賞牌受領者並に賞牌及び表彰狀、受領者推薦理由書等の印刷物を配布し、壇上大卓子を前に野田會長より嚴肅なる式辭を述べられ(式辭別項)。次で梅根博士を壇上に招かれ表彰狀及び賞牌を贈呈さる。(一同拍手)。視電披露。

日本鐵鋼協會大會を祝し併て賞牌受領者梅根君に敬意を表す 香村小録。

贈呈式後一同ホテル前大玄關階段に集合し記念撮影を行ふ。時に 12 時。

晝食 大連市役所の招待にて出席者全員ホテル大食堂に會食す。市助役岡野氏より挨拶あり野田會長謝辭を述べらる。

午後 1 時 講演開始

司會者。京都大學教授 西村秀雄氏

講演番號 6、電氣製鋼實驗的研究

三菱重工業會社社長崎造船所 工學士 中村 道方君

同 7、歐米に於ける傾注式平爐及其作業と八幡製鐵所に於ける現況

日本製鐵會社八幡製鐵所 工學士 松原 武三郎君

同 8、鑄鐵の鑿に就て 新潟鐵工所 松浦 春吉君

同 9、高温高壓氣罐用鋼管の腐蝕に就て

住友伸銅鋼管會社 絹川 武良司君

質疑。唯今の講演中酸化鐵と申されましたが其意味は(藤原氏)回答、明確に御答へ出来ませぬが $FeO \sim Fe_3O_4$ の意です。

10 分間休憩。水谷理事の司會により繼續開會さる。

講演番號 10、ニッケル合金鋼の鍛鍊上考慮を要すべき二三の點に就て 日本ニッケル情報局 藤原 唯義君

同 11、佐々川清君の講演は都合により本人より取消された。

同 12、銅、アルミニウム、珪素三元系合金の平衡狀態圖に就て(西村秀雄氏代講)

京都帝國大學工學部探鑛冶金學教室 工學士 久恒 中陽君

同 13、デュラルミンの時効硬化の一時的中止に就て

三菱重工業會社名古屋航空機製作所 工學士 池田 傳君
豫定より時間餘り 15 分間休憩す。午後 4 時齋藤博士の司會により講演を繼續す。

講演番號 14、マグネシウム、カドミウム系を基礎とする多元系輕合金の研究

旅順工科大学教授 工學博士 大目方 一司君

滿洲化學工業株式會社 萩谷 正己君

(大目方君講演)

同 15、鋼の低温脆性に就て

日本特殊鋼會社々長 工學博士 渡邊 三郎君

同 技師 永澤 清君

(永澤君講演)

所定の講演全部を終了す。次で午前中に行はれた香村賞牌受領者梅根博士より會に對する答辭を述べられた(別記)。

野田會長登壇され閉會の辭を述べられ茲に本日の講演大會全部を終了する事を得た。時に午後 5 時。會員の着席を乞ひ大連以北地見

學旅行に關し必要なる注意と希望等 20 分間に涉り鞍山實行委員水津氏より述べられた。

本日大會出席會員實數。

合計出席者 89 名。内譯 内地會員 46 名、朝鮮會員 3 名、滿洲會員 40 名。滿洲會員中純滿洲冶金學會々員 11 名、日本鐵鋼協會及び滿洲冶金學會共通會員、27 名 日本鐵鋼協會會員 2 名、第 4 日以後奥地見學に参加を申込める滿洲冶金學會會員 5 名。

講演大會開會の辭

大會實行委員長 伍 堂 卓 雄 君

要旨。日本鐵鋼協會は第十三回講演大會を滿洲に於て開催さるゝ事となり、滿洲冶金學會は之と聯合して第七回の講演會を開く事となり本日豫定通り開催するは慶賀の至りであります。鐵鋼協會長初め多數の會員諸氏は遠隔の地に奮つて御參會下され、當春決定當時は内地よりの出席者 37 名の豫想の由本部からの通知を受け其積りで各委員は準備を進めて居ました處、次々に申込者増加しまして出席名簿にあります通り内地より 50 名に達し滿洲、朝鮮を合して總計 106 名の多數に達しました。又本日は會員以外の方も傍聽され此會場 130 の席が満員するの盛況となりました事は一に會員諸氏の滿洲視察の熱心による事と鐵鋼に關する學問技術に關し御熱心の致す處と存じます。實行委員に於ては不慣のため諸事不行届の事と思ふが御不滿の點は御寛容の事を前以て私から御願ひ申す。又明日より各地の見學に移る筈であります之亦多數の御方に不自由の感を起さるゝ場合もあります事と思ひます。又現在の滿洲は已に完成せる事業もありますが未だ建設の中途にあるとか或は計畫中に屬するものも少くない。特に私の關係して居る昭和製鋼所の如きは創立工事中で雜然として大して御目にかく程のものはないかも知らぬ。斯様な狀態の滿洲を御覽になる事は諸君に取ては寧ろ好都合であると思ひます、何故なれば皆様は夫々其道の専門家で技術學問の經驗家であるゝからである。昨夜私は通俗講演會に於て日滿經濟の統制に就て述べましたが之は皆様の御批判を仰ぎたい積りである。明日から見學さるゝに就ては日本と滿洲と云ふ意味で御視察下されん事を希望致します。

時間を費して講演時間を空ふする事は恐縮ですから之から直に講演に移ります(拍手)。

香村賞牌贈呈式、式辭

野田 會長

工學博士梅根常三郎君は明治 44 年京都帝國大學理工大學探鑛冶金卒業後直に八幡製鐵所に就職、大正 8 年滿鐵鞍山製鐵所創設に際し聘せられ同所技師として勤務し同 9 年 1 月より同所原料の根本問題たる貧鐵鑛處理研究を始むるや君は之が主班となり各種の研究をなし同 12 年末に至り漸く完成鞍山今日の選鑛工場建設の基礎をなせり。

抑も鞍山の貧鐵鑛は其含鐵分漸く 37% にして夾雜物は殆ど珪酸なり故に其儘原料とすれば技術的には可能なるも經濟的には採算不能にして是非共選鑛せざれば數億噸の貧鐵鑛開發の途なかりしなり。嘗て此の貧鐵鑛は鑛粒極めて微細且つ非常に硬堅にして加ふるに大部分は赤鐵鑛の形として存在するを以て普通の選鑛方法を以てしては處理不可能なりしを同君は數年にわたり磁化焙燒に就き研究をなし各種の困難に逢着せるもよくこれを克服し今日の基礎をなしたり。此方法たるや未だ世界に其類例なくよく之を完成せるは滿洲に散在

する數億噸の貧鐵を利用し得るのみならず製鐵資源に乏しき日本にとりて最も必要なる問題を解決せるものにて斯界に貢献する所實に大なりと謂はざるべからず。

以上同君苦心經營の寄與する所特に顯著なるに鑑み香村賞牌受領者たるの資格充分なるものと認む。(理由書朗讀)(拍手)。

香村賞牌受領者答辭

工學博士 梅根常三郎君

今回はからずも榮譽ある香村賞牌を不肖私を受くる事となりまして身に餘る光榮の至りであり、鞍山貧鐵鑛處理の問題は製鐵所創立以來の大問題でたまたま私は其當時の所員として任にあたり職として滿鐵總裁中村是公氏や製鐵所長井上匡四郎氏等の命令を受けて巨額の研究費と長年月の時日と部下多數の職員同僚の努力とに仍て先刻理由として會長の述べられた様に大正 13 年末に工業に移し得る迄に進めました。大正 15 年より選鑛工場を本式に運轉して今日の如きものとなつたものであります。私の處理方法は未だ完全無缺と云ふ状態ではなく今日尙研究は續けられて居りますが一方鑛鑛爐に必要せらるゝ燒結鑛 1,000 噸以上は毎日生産せねばならず相當に努力を要するものがあります。かゝる大事業が私一箇の力によつて成されたとは勿論申上られず多數の上司下僚の協力と云ふ可きで今日賞牌を受くる事は汗顔の至りである。此機會に於て私は鞍山貧鐵處理に關係ある多數諸君の功績をもたへたいと思ひます。前申上りました通り此貧鐵處理法は尙改良さる可き諸點がありますので此後は日本鐵鑛協會々長並に諸先輩方初め會員諸氏の御指導御鞭撻を受け一層改善せしめたいと思つて居ます。之れ獨り一會社の利益に留らず日本として重要問題であると思ふからであります。

今日の榮譽を賜つた日本鐵鋼協會會長閣下に深厚なる感謝を表すると共に、香村博士に對し滿腔の敬意を以て衷心謝意を表します。尙將來の覺悟を述べまして答辭と致します(拍手)。

閉會の辭

野田會長

(要旨) 今回講演大會を開催するに當つて多數の講演應募者諸君は率先して夫々重なる研究結果の發表を申出られた事は會として誠に慶賀の至りである。特に今回は見學旅行の關係で講演を一日間に限つたゝめ多數申込者には御氣の毒ながら事情を述べて諒解を乞ひ御斷りするに至つた事は會として遺憾とする所である。亦同時に研究の年と共に盛大に向ふ事は本邦斯界のため誠に祝福せざるを得ない本日講演下された諸君には何れも鐵鋼冶金學界並に業界各方面に代表的のもので本邦に於ける之等新傾向を示せるものである。此點に就て講演者各位に對し篤く敬意を表するものである。唯各位に對しては講演時間誠に僅少のため其蘊蓄さるる所を充分述べ得られざる點のあつた事は誠に御氣の毒である。本會の開催によつて新興滿洲に對し何等かの刺戟を與へ得たものと信じ會として意義深きものと思ふものである。尙明日以後各所の見學により御互に滿洲の認識を深め一層日滿兩國斯界のため努力せんと心掛けたい。之れを以て講演會を終ります(拍手)。

懇親晚餐會

ヤマトホテル大食堂に裝飾されたる圓卓 11 を配置し合計 90 名の大宴會を開催するに至つた。午後 6 時ホテル大サロン入口に受付を開始し來賓の受付及び會員の食卓番號券を配布した。來賓氏名。

滿鐵副總裁八田嘉明氏、滿洲技術協會會長貝瀨謙吾氏、滿洲化學工業會社常務取締役深水尋氏、大連市助役岡野勇氏、同収入役大岩爲吉氏、大連新聞社長寶性確成氏、沙河口鐵道工場長杉浦熊男氏、會員中の招待者として野田會長、伍堂社長、鮫島總辨、梅根常三郎氏以下講演者 12 名、尙大會の直接事務に従ひ多大の努力を續け來れる數氏をも招待者とし、會員を合計して 90 名となつた。サロンに待合せた一同は歡談と共に先づカクテルを乾杯し食卓に就いた。席定まるや野田會長より一場の挨拶をなし來賓の健康を祝して乾杯され、八田副總裁は來賓を代表して謝辭を述べられ大會の成效を祝福し乾杯された。開宴と共に各卓は談笑裡に興味湧き互に舊交を温め新知を求め和氣霽々として大ホールに充滿された。一同十二分の歡を盡して午後 8 時散解した。

野田會長挨拶要旨

今回日本鐵鋼協會は滿洲冶金學會と聯合して滿洲に於て大會を開催する事となり其行事中主要地たる大連市に於て通俗講演會及び學術講演會を催し、又旅順見學及び大連工場見學等を行ふ事となつて居る。大會行事中此處に第一、二日を滞りなく過し明日は滿鐵關係を初め多數會社工場を見學する筈である。第四日以後第 14 日に涉り大連以北を見學の豫定となつて居る。來賓の諸氏には夫々御關係業務に就き本會は多大の御援助を御願申上し處夫々御快諾下さつた事を深く感謝致す次第である。諸方面の御後援によつて會の目的を達し得る事は誠に喜ばしき至りで感謝にたへない。聊か謝禮の微意を表するため御招待申したる所御繰合せ御出席下されたる事を深く御禮申上る。粗末たる設備で汗顔の至りであるがゆるゆる御歡談下さる事を御願申す。此處に來賓各位の御健康を祝するため乾杯致したい。(拍手)

八田副總裁の挨拶要旨

日本鐵鋼協會及び滿洲冶金學會の聯合による講演大會を滿洲に開催するゝ事となり當市に於て講演會及び工場視察を行はるゝに就き我々多數を本日御招待に預り誠に感謝にたへない。此兩學會の企圖さるゝ所は遠大のものと思はるゝが我々は今回の行事を承り其目的さるゝ所が明瞭に理解さるゝ事となつた。此會合により内地より多數の専門諸大家が來滿されて親しく實狀を視られ独自の御意見を御立て下さる事は直に滿洲産業の開發に貢献する所尠なからぬと思はるゝ。何卒充分の御視察により我々在住者を直接間接御指導されん事を切に御願申す。此處に御禮と共に會員各位の健康を祝するため乾杯致します(拍手)。

第 3 日 (10 月 9 日火曜、快晴) 大連市内工場見學

第一班 世話係、萩原委員、原良彦氏、上島大助氏。参加者、岩瀨評議員を團長とし以下會員 35 名。午前 8 時 30 分ヤマトホテル前に集合し自動車 11 臺に分乗し所定の見學箇所を巡歴した。

滿蒙資源館 (午前 8—40 より同 9—30)。滿蒙資源を一目瞭然に把握するに最も適當せる參考品陳列館であるため滿蒙資源の豫備知識を得るに充分である。滿鐵沿線及び奥地の視察者は本館を最初に觀覽するの必要がある。館内には鑛産、林産、農産、畜産、水産、工業に關する多數の標本を陳列され、又鐵道、港灣に關する模型、圖表等遺憾なく掲げられて居る。就中撫順炭坑露天掘採炭法及び鞍山に於ける昭和製鋼所貧鐵處理に關する模型等は會員の注意を惹ける事著しかつた。